



平成24年11月号



概況

最近の県内経済は、全体に緩やかな持ち直しの動きが続く中、生産活動や個人消費の一部に一服感がみられる。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は4ヶ月ぶりのプラスとなった。自動車販売は、登録車がマイナスに転じた。全体では12ヶ月連続のプラスとなったものの、増加幅は縮小した。

住宅建設は持家、貸家が大幅に増加し、全体では3ヶ月ぶりのプラスとなった。公共投資は国が大幅に増加したほか、独立行政法人等、県、市町村も増加し、3ヶ月連続のプラスとなった。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比9.4%上昇の106.3となった。一次産業関連をみると、24年県産リンゴ販売は、県外出荷量が減少したものの、消費地市場価格が上昇し、県外市場販売額は幾分の減少にとどまった。八戸港水揚げは数量が増加したものの、金額は減少した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.01ポイント上昇の0.60倍となった。新規求人数が18ヶ月連続のプラス、有効求人数も32ヶ月連続のプラスと、緩やかながら改善の動きが続いている。

個人消費

9月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比0.8%増となり4ヶ月ぶりのプラスとなった。業態別では百貨店が同2.1%増と3ヶ月ぶりのプラス、スーパーが同0.5%増と4ヶ月ぶりのプラスとなった。9月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比0.6%増と12ヶ月連続のプラスとなったものの、増加幅は縮小した。登録車が同4.6%減と13ヶ月ぶりのマイナス、届出車は同8.3%増と12ヶ月連続のプラスとなった。

住宅投資

9月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比65.8%増の630戸と3ヶ月ぶりのプラスとなった。持家が同70.8%増、貸家が同57.7%増とそれぞれ前年同月を大幅に上回ったほか、給与住宅、分譲住宅も増加した。

公共投資

9月の**公共工事請負額**は全体では前年同月比27.6%増の266億9,700万円となった。国が同98.9%増、独立行政法人等が同約8倍、県が同7.7%増、市町村が同16.3%増となった。

一次産業

農林水産省東北農政局の調査によると、**24年産水稻**の県平均作柄(10月15日現在)は作況指数が「106」と見込まれている。作柄地帯別にみると、青森、津軽、南部・下北とも平年を上回ると予想される。**24年県産リンゴ販売**の年間累計は県外出荷量が前年同月比22.9%減となったものの、消費地市場価格が同24.6%上昇し、県外市場販売額は同3.3%減にとどまった。9月の**八戸港水揚げ**は数量が前年同月比14.5%増となったものの、金額は同26.2%減となった。

生産活動

8月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、前月比9.4%上昇の106.3となった。原指数では前年同月比3.9%上昇の105.7となった。食料品、一般機械で上向きの動きがみられたほか、鉄鋼で持ち直しの動きが続いている。

一 次 産 業

米

24年産水稻の県平均作況指数は「106」の見込み

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成24年産水稻の県平均作柄(10月15日現在)は、作付面積(子実用)が4万7,800ha、予想収穫量が29万5,900トンとなり、10a当たりの予想収量は619kg、作況指数は「106」と見込まれている。5月下旬から6月上旬にかけて気温が平年を上回って推移したことなどから穂数が「やや多い」ものの、相反作用等により1穂当たりのもみ数は「やや少ない」となり、全もみ数は「平年並み」となった。また、穂ばらみ期、出穂期以降は高温・多照で推移したことから、登熟は「良」と見込まれている。

作柄表示地帯別に10a当たりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯が611kgの「107」、津軽地帯が644kgの「106」、南部・下北地帯が572kgの「106」と、いずれも平年を上回るものと予想される。

24年産水稻の作柄概況(10月15日現在)

作柄表示地帯	作付面積(ha) (子実用)	予想収穫量(t) (子実用)	10a当たり (kg)		穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否	作況指数
			予想収量	平年収量					
県全体	47,800	295,900	619	582	やや多い	やや少ない	平年並み	良	106
青森地帯	-	-	611	569	やや多い	平年並み	やや多い	やや良	107
津軽地帯	-	-	644	607	多い	やや少ない	やや多い	やや良	106
南部・下北地帯	-	-	572	539	やや少ない	平年並み	やや少ない	良	106

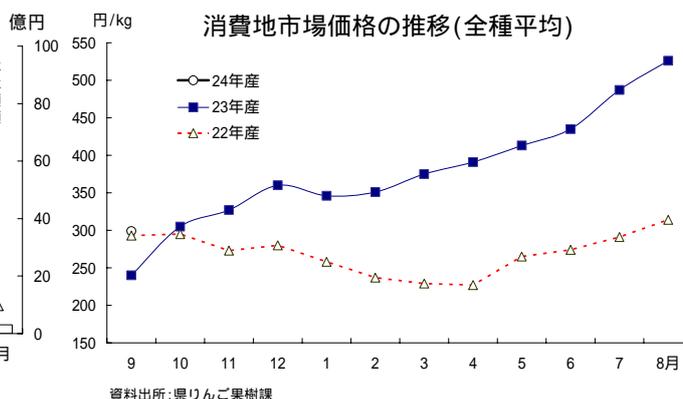
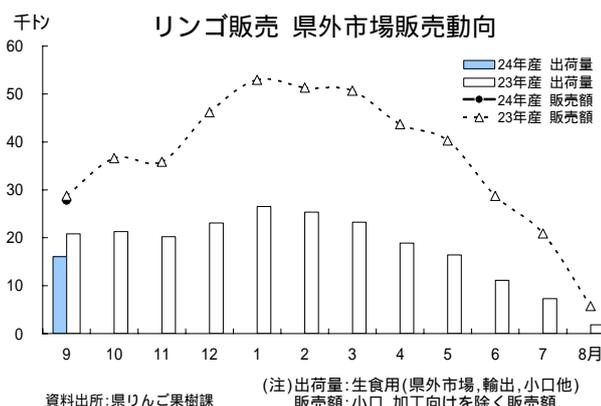
(注) 穂数の多少、もみ数、登熟の良否は平年比較
資料出所:東北農政局

りんご

24年産消費地市場価格、前年同月比24.6%上昇でスタート

24年県産りんご販売、9月の県外出荷量は前年同月比22.9%減の1万6,052トンとなった。これは前3ヶ年の9月平均出荷量を25.8%下回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比、前3ヶ年比較とも17.1%上昇の171円/kgとなった。一方、消費地市場価格はこの時期主力の「つがる」が前年同月比26.8%上昇、前3ヶ年比較で27.3%上昇の303円/kgとなり、合計では前年同月比、前3ヶ年比較とも24.6%上昇の299円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比3.3%減、前3ヶ年比較で6.4%減の46億3,600万円となった。

24年産県産りんごの市場価格は、高温による「つがる」の着色遅れで市場への入荷量が少なかったことや、果実全体の入荷量が少なかったことなどから、前年を上回るスタートとなった。

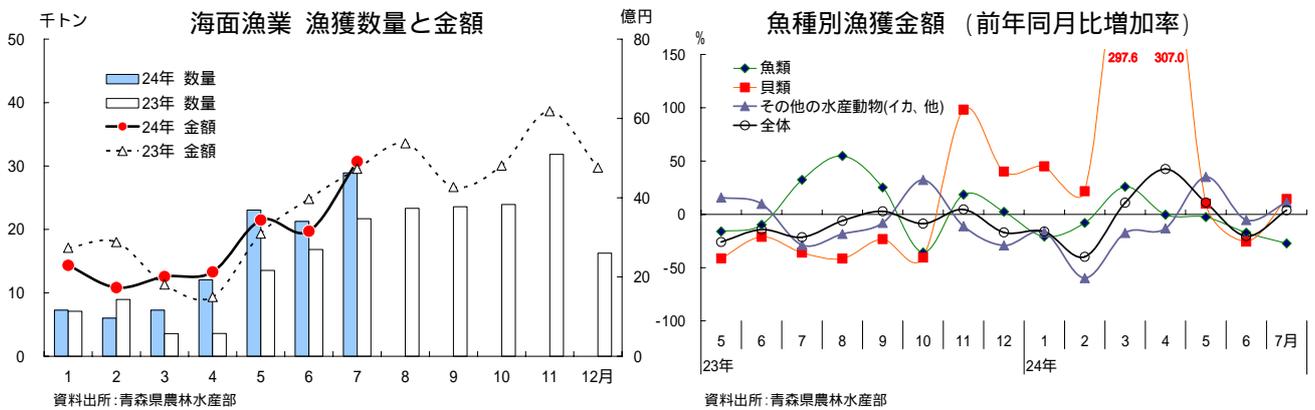


海面漁業

7月の海面漁業、数量、金額ともプラス

7月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 33.2%増の 2 万 8,911 トン、漁獲金額は同 3.9%増の 49 億 1,363 万円となった。

魚種別にみると、「魚類」はイワシの水揚げが増加したものの、サバが大幅に落ち込み、数量が同 40.4%減の 4,014 トン、金額は同 27.3%減の 9 億 3,640 万円となった。「貝類」はホタテガイ(半成貝、成貝)の水揚げが大幅に増加し、数量が同 102.2%増の 1 万 5,619 トンとなったものの、価格が伸び悩み、金額は同 14.3%増の 18 億 6,539 万円にとどまった。イカなどの「その他水産動物」はアカイカ(近海)の水揚げが好調だったほか、近海スルメイカが前年を上回ったことなどから、数量が同 22.2%増の 8,655 トン、金額は同 11.3%増の 19 億 6,508 万円となった。

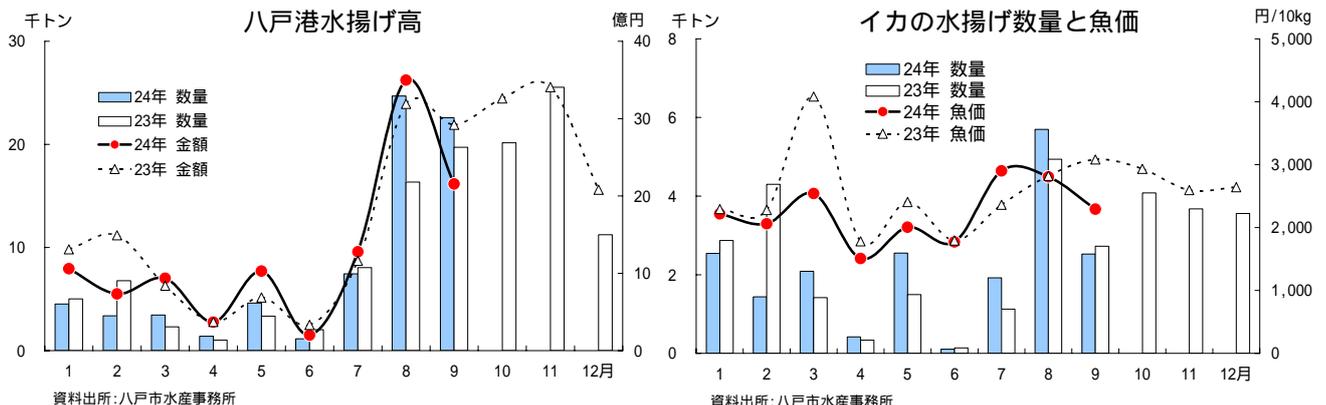


八戸港水揚げ

水揚げ金額、前年同月比 26.2%減

9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 14.5%増の 2 万 2,576 トン、金額は同 26.2%減の 21 億 5,530 万円となった。

イカ釣り漁は、数量が同 7.3%減の 2,525 トン、金額は同 31.0%減の 5 億 7,890 万円となった。船凍スルメイカの水揚げが前年を上回ったものの、近海スルメイカは数量、金額とも前年の 2 割以下に落ち込んだ。平均単価は小型サイズの水揚げが多かったことなどから、同 25.6%低下の 2,293 円/10kg となった。大中型旋網漁はサバの水揚げが好調で数量が同 53.6%増の 1 万 7,626 トン、金額は同 32.2%増の 12 億 8,627 万円となった。機船底引き網漁はシケの日が多かったことやスルメイカの水揚げが低調だったことなどから、数量が同 58.1%減の 2,045 トン、金額は同 75.8%減の 2 億 3,695 万円となった。



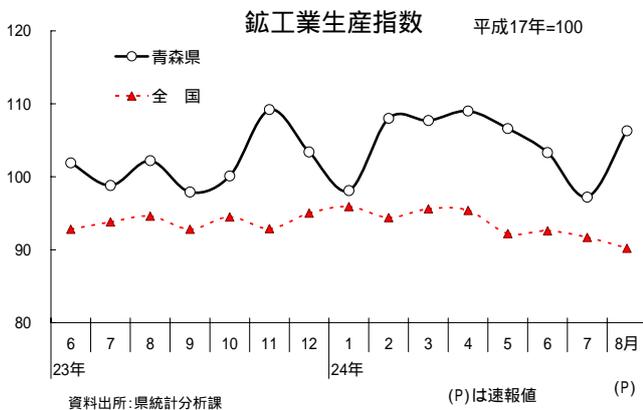
二 次 産 業

鉱工業生産

鉱工業生産指数、前月比9.4%上昇の106.3

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比9.4%上昇の106.3となった。主要6業種をみると、ウェイトの高い食料品が同16.8%、一般機械が同16.3%、電子部品・デバイスが同5.1%、鉄鋼が同2.9%、パルプ・紙が同1.9%それぞれ上昇した。一方、電気機械は同20.4%低下した。このほかでは化学が同136.3%、金属製品が同13.4%それぞれ上昇し、窯業・土石は同2.6%低下した。原指数では前年同月比3.9%上昇の105.7となった。

食料品、一般機械で上向きの動きがみられたほか、鉄鋼で持ち直しの動きが続いている。電気機械は経済減速の影響などから、このところ弱めの動きがみられる。



業 種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原 指 数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月 比(%)
鉱 工 業 (10000.0)	106.3	9.4	105.7	3.9
食 料 品 (2249.0)	111.3	16.8	112.6	12.2
一般機械 (1254.7)	141.9	16.3	124.7	6.2
電子部品・デバイス (1106.8)	126.8	5.1	132.3	1.5
鉄 鋼 (1008.6)	102.7	2.9	101.1	34.7
パルプ・紙 (807.5)	92.9	1.9	96.0	64.9
電気機械 (550.4)	96.1	20.4	100.4	27.4

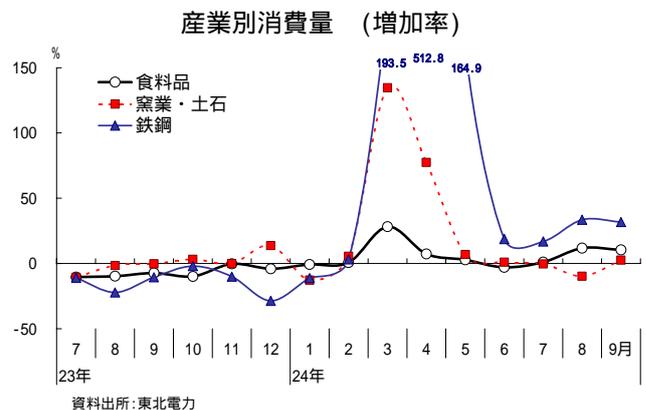
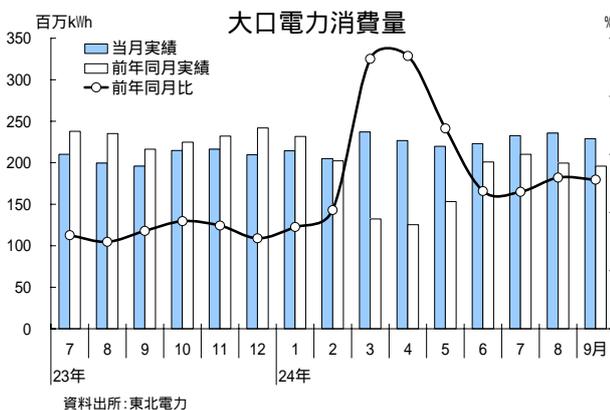
資料出所: 県統計分析課

大口電力

大口電力消費量、8ヶ月連続のプラス

9月の県内大口電力消費量は、前年同月比16.9%増の2億2,894万kWhとなり、8ヶ月連続のプラスとなった。うち製造業は同19.6%増の1億6,417万kWhとなった。製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウェイトの高い鉄鋼が同31.7%増、非鉄金属が同10.8%増、食料品が同10.4%増、パルプ・紙が同9.0%増、機械が同4.1%増、窯業・土石が同2.5%増となった。一方、化学は同5.4%減となった。

県内大口電力消費量は鉄鋼、非鉄金属、食料品が堅調に推移しているほか、全体に上向きの動きがみられた。

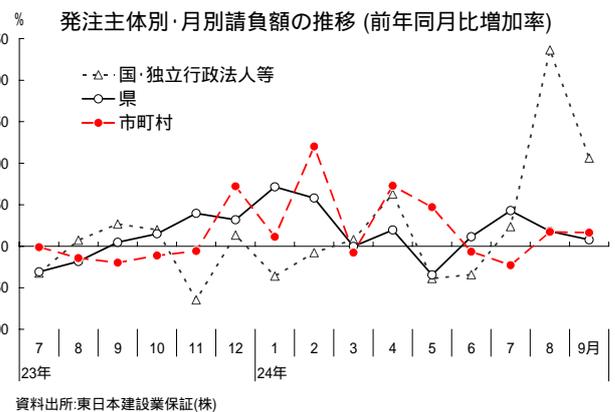
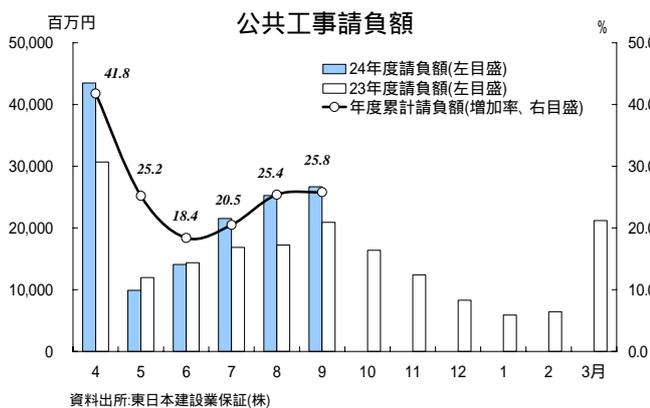


公共工事

公共工事請負額、前年同月比 27.6%増

9月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 27.6%増の 266 億 9,700 万円となった。当月の請負額は、国が国土交通省、農林水産省の増加により同 98.9%増の 83 億 8,100 万円と大幅に増加したほか、独立行政法人等が弘前大学関連の増加により同約 8 倍の 3 億 9,700 万円、県が県土整備部関連で上北地域県民局、西北地域県民局など、農林水産部関連で下北地域県民局、東青地域県民局などの増加により同 7.7%増の 119 億 8,800 万円、市町村が五戸町、むつ市、野辺地町などの増加により同 16.3%増の 53 億 9,900 万円となった。

平成 24 年度上半期の累計請負額は独立行政法人等が前年同期比 89.8%増となったほか、国が同 7.7%増、県が同 13.7%増、市町村が同 17.1%増となり、全体では同 25.8%増の 1,410 億 3 百万円と大幅に増加した。

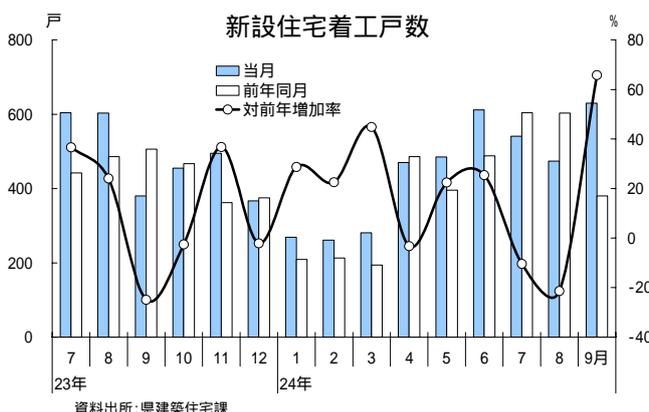


住宅着工

3ヶ月連続のプラス、持家、貸家が大幅増

9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 65.8%増の 630 戸と 3ヶ月ぶりのプラスとなった。利用関係別では、持家が同 70.8%増、貸家が同 57.7%増とそれぞれ前年同月を大幅に上回ったほか、給与住宅、分譲住宅も増加した。地域別にみると、黒石市、十和田市、三沢市、つがる市で減少したものの、青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、むつ市、平川市、郡部で増加した。持家は青森市、弘前市、八戸市で大幅に増加(3市で 135 戸増)したほか、五所川原市、十和田市、郡部などでも増加した。貸家は十和田市、三沢市などで減少したものの、弘前市、八戸市で大幅に増加(2市で 109 戸増)した。分譲住宅は青森市、郡部などで増加した。

当月の県内住宅着工戸数は、都市部での持家、貸家が大幅に増加し、全体を押し上げた。年間累計着工戸数(1~9月)は 4,023 戸となり、過去 3 年(21~23 年)を上回るペースで推移している。



利用関係別戸数

(単位:戸,%)

	24年 9月	23年 9月	前年 同月比
持家	439	257	70.8
貸家	164	104	57.7
給与住宅	5	3	66.7
分譲住宅	22	16	37.5
総戸数	630	380	65.8

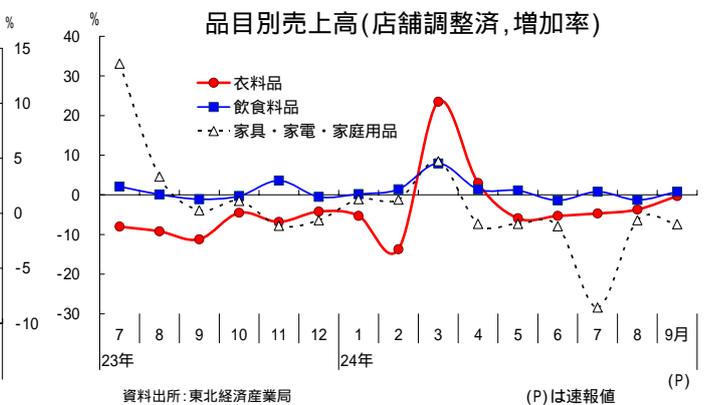
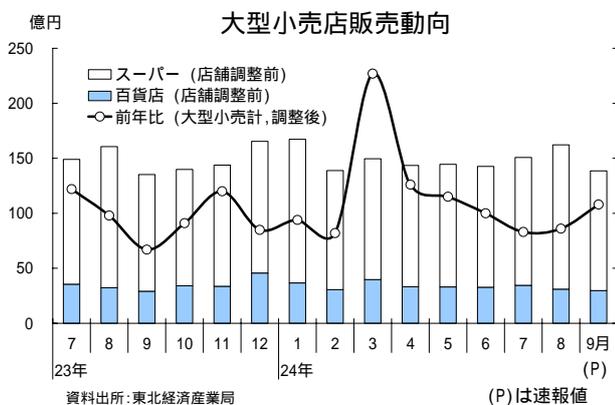
資料出所:県建築住宅課

三次産業

大型小売店販売

前年同月比 0.8%増、4ヶ月ぶりのプラス

9月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 0.8%増となり4ヶ月ぶりのプラスとなった。業態別では百貨店が同 2.1%増と3ヶ月ぶりのプラス、スーパーが同 0.5%増と4ヶ月ぶりのプラスとなった。今年の9月は土日が5回あり、売上増に影響したものとみられる。品目別では、ウェイトの高い飲食料品が同 0.8%増、身の回り品が同 22.5%増となった。一方、衣料品は同 0.3%減、家具・家電・家庭用品は同 7.4%減となった。飲食料品は生鮮食品が伸び悩んだものの、残暑の影響でビールなど酒類が好調であった。身の回り品は旅行用品、雑貨などが好調であった。衣料品は残暑の影響で夏物衣料が好調であったが、秋物や紳士服が不振であった。家具・家電・家庭用品は、家電製品、家庭用品が落ち込んだ。

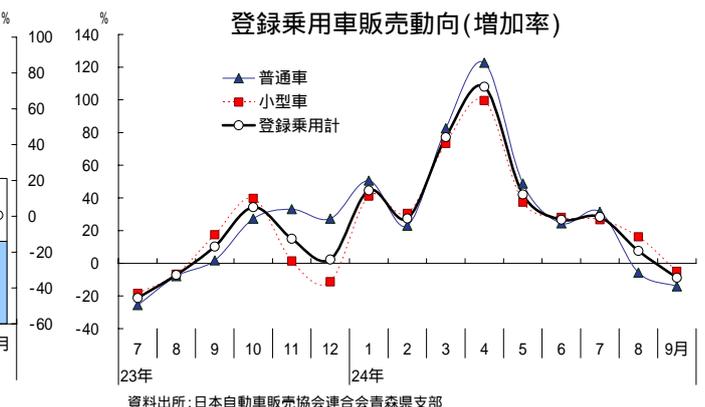
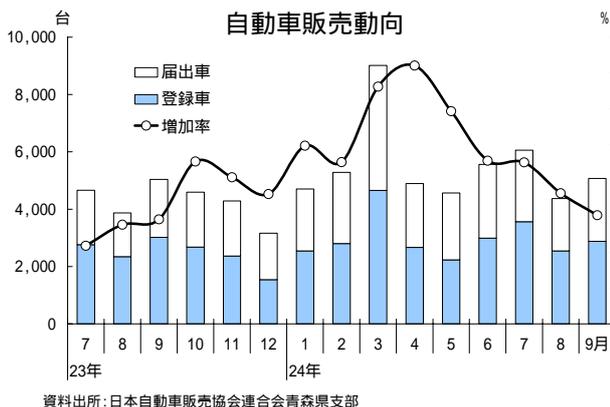


自動車販売

前年同月比 0.6%増、登録乗用車で落ち込みがみられる

9月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 0.6%増の 5,071 台となった。内訳別にみると、登録車は貨物車が同 23.2%増となったものの、普通乗用車は同 14.1%減、小型乗用車は同 4.9%減となり、登録車合計では同 4.6%減と13ヶ月ぶりのマイナスとなった。届出車は貨物車が同 5.4%減となったものの、乗用車が同 13.7%増となり、届出車合計では同 8.3%増と12ヶ月連続のプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 8.8%減となり、全体では同 0.7%減と13ヶ月ぶりのマイナスとなった。

県内の自動車販売は、エコカー補助金終了の影響などから登録乗用車の落ち込みがみられ、12ヶ月連続のプラスとなったものの、増加幅は縮小した。



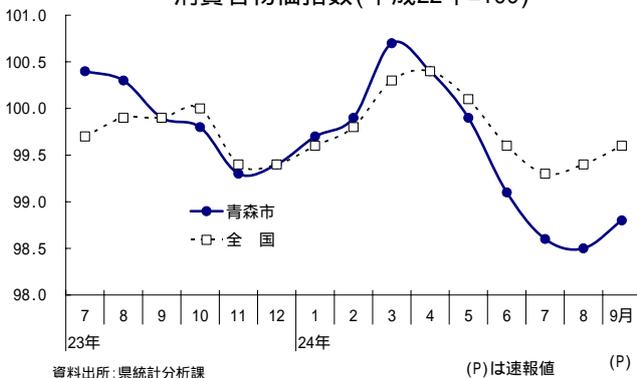
消費者物価指数

前月比 0.4%上昇の 98.8、6ヶ月ぶりに上昇

9月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100、速報値)は前月比0.4%上昇、前年同月比1.1%下落の98.8となり、6ヶ月ぶりに上昇した。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」がシャツ・セーター類などの値上がりにより5.2%上昇、「光熱・水道」が灯油の値上がりにより1.0%上昇、「交通・通信」がガソリンなどの値上がりにより0.9%上昇した。一方、「教養娯楽」はテレビなど教養娯楽品の値下がりにより1.7%下落した。前年同月との比較では「教養娯楽」(3.0%)、「食料」(2.3%)、「家具・家事用品」(2.1%)などの変動が大きかった。

なお、「生鮮食品を除く総合指数」は99.2となり、前月比0.3%上昇、前年同月比0.9%下落となった。

消費者物価指数(平成22年=100)



費目別指数の動き(平成24年9月)

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	98.8	0.4	1.1
食 料	96.7	0.4	2.3
住 居	98.1	0.0	1.2
光熱・水道	108.1	1.0	0.7
家具・家事用品	92.8	0.1	2.1
被服及び履物	101.4	5.2	0.3
保健医療	99.4	0.4	0.1
交通・通信	101.6	0.9	0.0
教 育	96.7	0.0	0.0
教養娯楽	91.9	1.7	3.0
諸 雑 費	103.9	0.4	0.3

資料出所: 県統計分析課

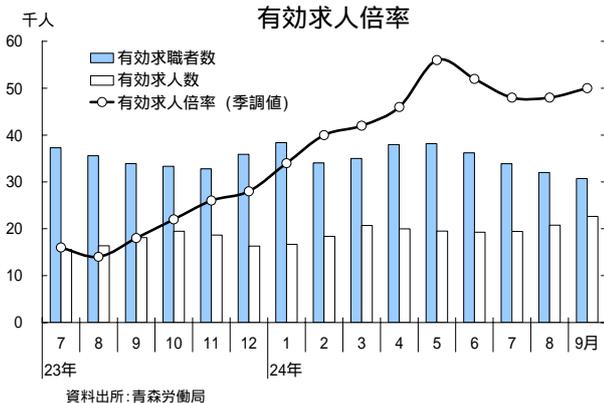
雇用動向

有効求人倍率、3ヶ月ぶりに0.60倍台

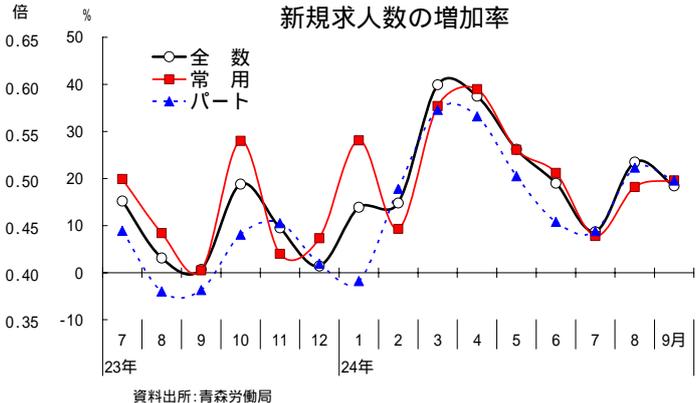
9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比25.1%増の2万2,652人、有効求職者数は同9.5%減の3万695人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント上昇の0.60倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比19.6%増、臨時・季節求人数が同12.4%増、パート求人数が同19.6%増となり、全数では同18.4%増となった。主要産業別の新規求人動向では卸売業、学術研究、専門・技術サービス業などで減少したものの、建設業、宿泊業、飲食店、社会保険・社会福祉・介護事業などで大幅な増加がみられた。

県内の雇用情勢は、有効求人倍率が3ヶ月ぶりに0.60倍台となった。新規求人数が18ヶ月連続のプラス、有効求人数も32ヶ月連続のプラスと、緩やかながら改善の動きが続いている。

有効求人倍率



新規求人数の増加率



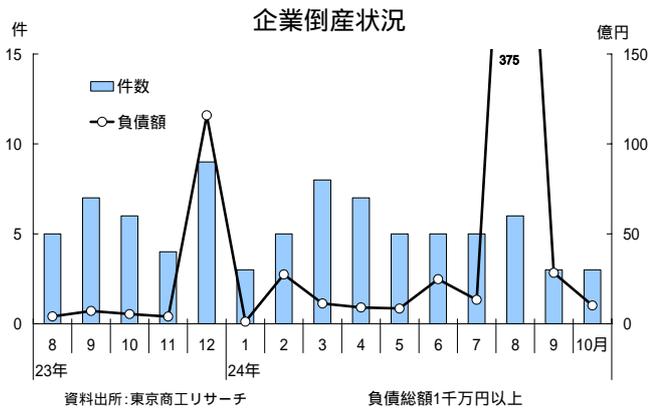
企業倒産

倒産件数、19ヶ月連続で1ケタ台

10月の県内企業倒産は、件数が前年同月比3件減の3件、負債総額は同4億7,800万円増の10億1,400万円となった。前月比では件数が横バイ、負債総額は18億1,400万円減となった。

倒産の内訳をみると、業種別では製造業、運輸業、サービス業が各1件となった。地域別では青森市、弘前市、十和田市が各1件となった。倒産要因は販売不振が2件、その他(偶発的要因)が1件となった。

県内の企業倒産は、倒産件数が金融円滑化法、セーフティネット保証等の施策による下支えなどから、19ヶ月連続の1ケタ台となった。一方、負債総額は震災関連による6億円規模の倒産が全体を押し上げた。



業種別・原因別件数 (平成24年10月)

業種	件数
一次産業・鉱業	
建設業	
製造業	1
卸売業	
小売業	
不動産業	
運輸・通信業	1
サービス業ほか	1
合計	3

原因	件数
放漫経営	
過小資本	
他社倒産の余波	
既往のシワ寄せ	
信用低下	
販売不振	2
売掛金回収難	
在庫状況悪化	
設備投資過大	
その他	1
合計	3

資料出所: 東京商工リサーチ
(負債総額1千万円以上)

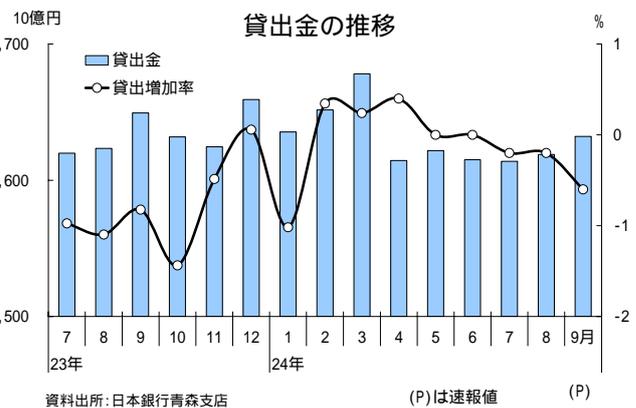
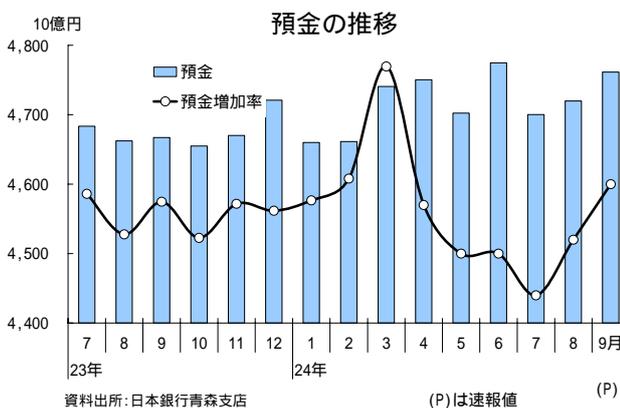
金融動向

貸出金、5ヶ月連続のマイナス

9月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.0%増の4兆7,615億円、貸出金は同0.6%減の2兆6,322億円となった。

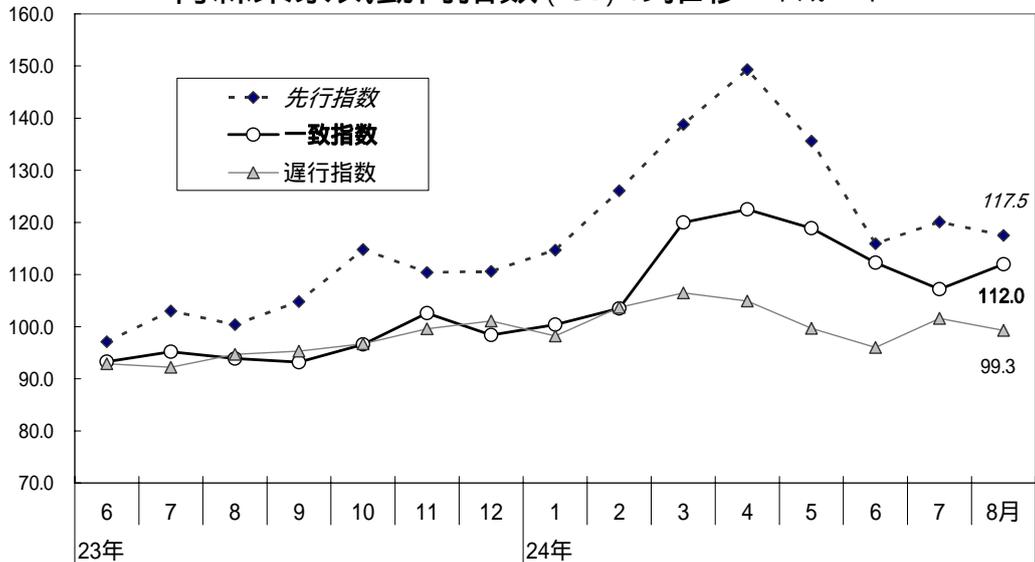
預金は個人預金、法人預金のプラス幅が拡大し、公金預金もプラスが続いている。この結果、預金全体のプラス幅は前月比0.8ポイント拡大した。

一方、貸出金は一般法人向けのマイナス幅が縮小したものの、地公体向けのプラス幅が縮小した。この結果、貸出金全体のマイナス幅は前月比0.4%拡大し、5ヶ月連続のマイナスとなった。



青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成17年 = 100



資料出所: 県統計分析課

一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表
下段: 寄与度

採用系列名	24年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
1. 大型小売店販売額(既存店)	3.79	1.77	0.45	0.57	0.61	0.10
2. 旅行取扱高	4.49	3.06	3.25	3.36	0.37	1.57
3. 鉱工業生産指数	0.02	0.28	0.61	0.82	1.50	2.23
4. 大口電力使用量	1.53	0.78	2.21	2.30	0.11	1.70
5. 有効求人倍率(全数)	0.53	1.30	1.88	1.47	1.37	0.09
6. 輸入通関実績(八戸港)	2.01	2.62	1.79	2.93	1.45	1.28
7. 東北自動車道IC利用台数	4.22	2.20	0.78	0.27	0.33	0.52

資料出所: 県統計分析課

景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

概況

国内景気は、引き続き底堅さも見られるが、世界景気の減速等を背景として、このところ弱めの動きとなっている。個人消費は概ね横バイとなっているが、足下で弱い動きがみられる。生産は減少している。輸出は弱含んでおり、輸入は横バイとなっている。公共投資は堅調に推移している。雇用情勢は依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 6ヶ月連続のマイナス -

9月の大型小売店販売は前年同月比1.0%減と6ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同0.0%の横バイ、スーパーが同1.5%減となった。商品別にみると、衣料品が同1.7%減、飲食料品が同0.9%減、その他商品が同0.7%減となった。

住宅建設

- 4ヶ月ぶりのプラス -

9月の新設住宅着工戸数は前年同月比15.5%増の7万4,176戸と4ヶ月ぶりのプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同12.6%増、貸家が同35.4%増とそれぞれ3ヶ月ぶりのプラスとなり、分譲住宅も同4.8%増と再びプラスに転じた。

企業倒産

- 負債総額、9月では過去20年間で最少 -

9月の企業倒産は、件数が前年同月比7.0%減の931件、負債総額は同17.8%減の1,746億円となった。倒産件数は4ヶ月連続で前年を下回った。負債総額は大型倒産（負債100億円以上）が発生せず、小規模倒産が多かったことから9月としては過去20年間で最少金額となった。

為替動向

- 10月末終値、79円72銭 -

10月の東京為替市場は77円後半でスタート。上旬は78円台での小動きとなった。中旬はソフトバンクの米国携帯会社買収に伴う円売りドル買いの動きなどから79円前半へ円安が進んだ。下旬は日銀の追加金融緩和決定への観測から円売りドル買いが進み、一時80円台をつけた。日銀は30日の金融政策決定会合で追加金融緩和決定、月末終値は79円72銭。

鉱工業生産指数

- 前月比4.1%低下の86.5 -

9月の鉱工業生産指数は前月比4.1%低下の86.5(季節調整値)となった。輸送機械工業、一般機械工業、鉄鋼業等が低下に寄与した。品目別では普通乗用車、小型乗用車、駆動伝導・操縦装置部品等であった。なお、生産予測調査によると、10月は情報通信機械工業、鉄鋼業等の低下により当月比1.5%低下を予測。

新車販売（除く軽自動車）

2ヶ月連続のマイナス

10月の国内新車販売は前年同月比9.0%減の22万5,543台と2ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別では、乗用車が同10.8%減、貨物車は同5.3%増となった。乗用車は普通乗用車が同19.9%減、小型乗用車が同2.2%減とそれぞれ2ヶ月連続のマイナスとなった。

完全失業率

前月比横バイの4.2%

9月の完全失業率は前月比横バイの4.2%となった。完全失業者数は前年同月比2万人減の275万人となり、28ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同6万人増の100万人、リストラ等勤め先都合が同7万人減の70万人などとなった。

消費者物価指数

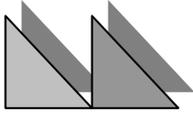
- 前月比0.1%上昇の99.6 -

9月の全国消費者物価指数(2010年=100)は99.6となり、前月比0.1%上昇、前年同月比0.3%下落となった。前月に比べ被服及び履物、光熱・水道などが上昇、教養娯楽などが下落した。生鮮食品を除く総合指数は99.8となり、前月比0.2%上昇、前年同月比0.1%下落した。

国際収支

- 黒字幅が大幅に縮小 -

9月の経常収支額は黒字幅が大幅に縮小し、前年同月比68.7%減の5,036億円となった。経常移転収支の赤字幅が縮小したものの、貿易収支が赤字に転じ、サービス収支の赤字幅が拡大、所得収支の黒字幅が縮小した。内訳は、貿易収支が4,713億円、サービス収支が2,801億円、経常移転収支が549億円のそれぞれ赤字となった。一方、所得収支は1兆3,098億円の黒字となった。



今月の統計

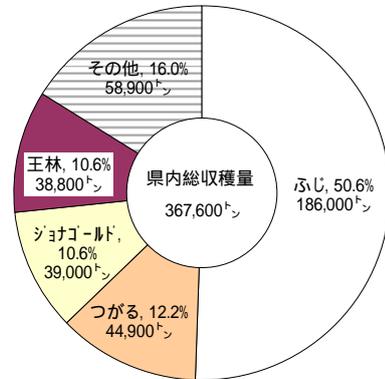
平成23年産 青森県産リンゴの概況

農

林水産省の調べによると、平成23年産の全国のリンゴ収穫量は、花芽不足による着果量の減少などから前年産比16.7%減の65万5,300トンと大幅に減少した。青森県産リンゴの収穫量は全国の56.1%を占めたが、同18.8%減の36万7,600トンと大幅に落ち込んだ。

青森県産リンゴの収穫量を品種別にみると、「ふじ」が18万6,000トン(50.6%)と最も多く、次いで「つがる」が4万4,900トン(12.2%)、「ジョナゴールド」が3万9,000トン(10.6%)、「王林」が3万8,800トン(10.6%)などの順となった。

平成23年産 青森県産リンゴの収穫量内訳



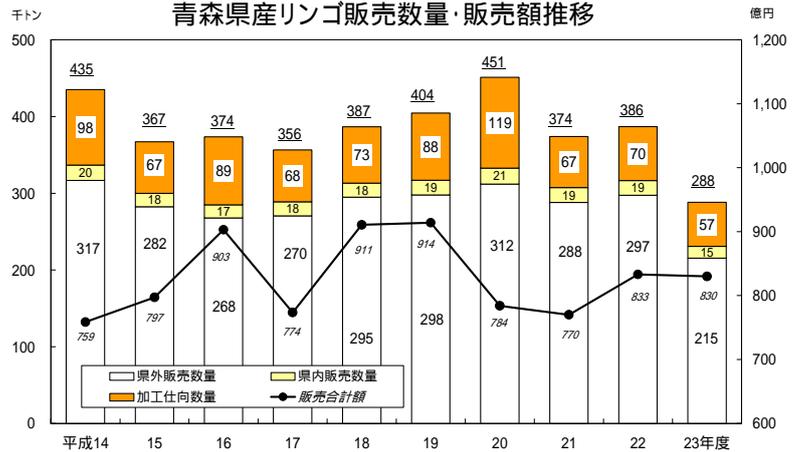
資料出所: 農林水産省農林水産統計

平

成23年度(平成23年9月～24年8月)の県産リンゴの販売実績をみると、販売合計数量は前年度比25.5%減の28万8,287トンとなった。うち県外販売数量は同27.6%減の21万5,428トン、県内販売数量は同19.2%減の1万5,381トン、加工仕向数量は同18.3%減の5万7,478トンと、それぞれ前年度を大幅に下回った。

価格面をみると、全種平均産地価格が前年度比27.4%上昇の214円/kg、同消費地市場価格は同39.5%上昇の364円/kgと、記録的な高値となった。23年産は全国的に収穫量が落ち込み、市場で品薄状態となったことや、リンゴの品質が良好だったことなどから終盤まで強い引き合いが続き、大幅な価格上昇がみられた。この結果、出荷量が大幅に落ち込んだものの、販売合計金額は同0.4%減の829億94百万円と、ほぼ前年並みとなった。

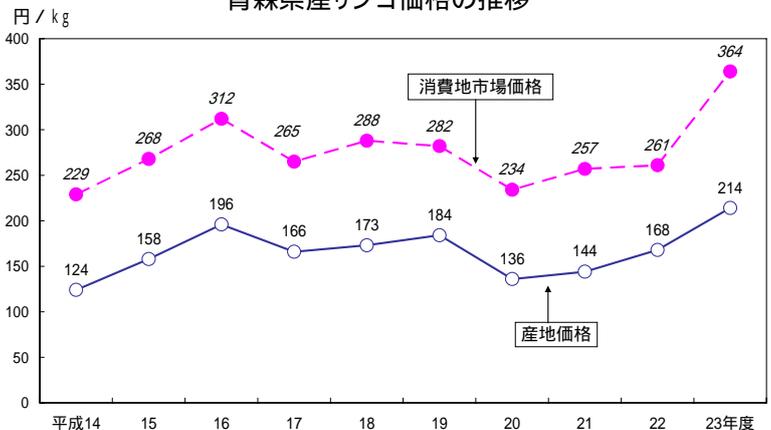
青森県産リンゴ販売数量・販売額推移



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

四捨五入のため数量合計は内訳と一致しない場合がある。

青森県産リンゴ価格の推移



資料出所: 青森県農林水産部りんご果樹課

県内経済

- 2日 2012年度上半期の企業倒産、件数が減少、負債総額は大幅増加**
信用調査会社の東京商工リサーチ青森、八戸両支店がまとめた2012年度上半期(4~9月)の県内企業倒産状況によると、件数が前年同期比3件減の31件となった。一方、負債総額は同394億1,300万円増の459億100万円と大幅に増加した。
- 17日 八戸漁港の復旧工事完了**
昨年3月の東日本大震災で被災した八戸漁港の復旧工事が完了した。県による復旧工事は国の補助分21件と県の単独分21件で、工費は約9億7千万円となった。
- 21日 第7回B-1グランプリ、八戸せんべい汁がゴールドグランプリ**
北九州市で開催されたご当地グルメの祭典第7回「B-1グランプリ」で、八戸市の「八戸せんべい汁研究所」が初のゴールドグランプリを受賞した。
- 22日 新規高卒者への県内求人、過去10年間で最多**
青森労働局のまとめによると、来春県内の高校を卒業する予定の生徒(新規高卒者)に対する県内企業の求人数(9月末現在)は前年同月比38.4%増(505人増)の1,820人となり、過去10年間で最多となった。
- 25日 医師臨床研修マッチング、県内病院への内定は過去最多の76人**
県医療薬務課は2013年度に臨床研修を希望する卒業予定の医学生と研修病院の組み合わせを決める「医師臨床研修マッチング」の結果を公表した。県内の指定13病院での研修が内定した医学生は前年度を7人上回る76人となり、過去最多となった。

国内経済

- 8日 山中伸弥教授がノーベル賞受賞**
スウェーデンのカロリンスカ医科大は、iPS細胞を開発した京都大学の山中伸弥教授に今年のノーベル医学生理学賞を送ると発表した。日本人のノーベル賞受賞は19人目となる。
- 9日 2013年の世界経済成長率3.6%に鈍化、日本も下方修正**
国際通貨基金(IMF)は東京で世界経済見通しを発表し、2013年の実質成長率を前回(7月)予想から0.3ポイント低下の3.6%と下方修正した。日本についても東日本大震災の復興需要が一段落することから0.3ポイント低下の1.2%と下方修正した。
- 11日 機械受注、3ヶ月ぶりのマイナス**
内閣府が発表した8月の機械受注統計(季節調整値)によると民間設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額は前月比3.3%減の7,173億円となり、3ヶ月ぶりのマイナスとなった。
- 12日 景気の基調判断、3ヶ月連続で下方修正**
前原経済財政担当相は10月の月例経済報告を関係閣僚会議に提出した。景気の基調判断については「引き続き底堅さもみられるが、世界景気の減速等を背景として、このところ弱めの動きとなっている」とし、3ヶ月連続で下方修正した。
- 19日 9月の訪日中国人、2010年同月比10.1%減**
政府観光局の発表によると、9月の訪日外国人のうち中国人は震災前の2010年9月に比べ10.1%減の12万3,500人となった。6~8月は前々年比2ケタの伸びで推移していたが、尖閣諸島をめぐる日中間の関係悪化が影響したものとみられる。
- 22日 日銀、東北を除く8地域の景気判断を下方修正**
日本銀行は10月の地域経済報告(さくらリポート)の中で、東北を除く8地域の景気判断を、昨年7月の前回報告から下方修正した。
- 30日 日銀、2ヶ月連続で追加金融緩和**
日銀は金融政策決定会合で、国債などを買入れる資産買入れ基金の枠を11兆円増額するほか、金融機関の貸出増加を促す「貸出支援基金」の創設など2ヶ月連続で追加の金融緩和を決定した。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.3	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,519	95,815	209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	81.1	788,410	98,966	197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	94.4	813,126	87,316	195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.437	12,734	35,929	92.2	834,117	86,657	195,933
2011(H23) 7	791,240	589,939	419,580	1.501	1,081	2,209	93.8	83,398	7,011	17,843
8	789,717	590,572	418,217	1.496	1,026	7,940	94.6	81,986	7,751	15,574
9	788,044	594,121	424,064	1.473	1,001	2,123	92.8	64,206	11,141	14,728
10	787,220	591,365	420,682	1.474	976	1,559	94.5	67,273	9,364	16,057
11	789,721	596,515	420,770	1.469	1,095	1,877	92.9	72,635	6,746	16,370
12	815,720	598,668	425,858	1.452	1,032	3,567	95.0	69,069	7,717	20,910
2012(H24) 1	812,462	596,371	422,359	1.452	985	3,494	95.9	65,984	5,725	17,383
2	798,710	597,558	423,739	1.442	1,038	6,313	94.4	66,928	7,694	14,659
3	804,460	611,205	430,289	1.428	1,161	3,339	95.6	66,597	14,373	16,032
4	806,725	607,936	425,590	1.424	1,004	2,290	95.4	73,647	3,996	15,664
5	807,450	607,195	423,633	1.421	1,148	2,826	92.2	69,638	5,309	15,753
6	802,079	609,717	426,567	1.409	975	1,816	92.6	72,566	8,160	15,682
7	809,465	604,151	425,035	1.403	1,026	7,241	91.7	75,421	9,060	17,123
8	808,736	603,259	424,583	1.401	967	2,166	90.2	77,500	9,801	15,568
9	806,118				931	1,746	P 86.5	74,176	10,562	P 14,707
前月比 %	-0.3	-0.1	-0.1	-0.002% イト	-3.7	-19.4	-4.1	-4.3	7.8	-1.9
前年同月比%	2.3	2.1	1.5	-0.095% イト	-7.0	-17.8	-8.1	15.5	-5.2	-1.0
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省	経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年 = 100	消費者 物価指数 2010年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円 / US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2006(H18)	4,642	99.3	100.7	-	4.1	17,225.83	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	101.1	100.7	-	3.8	15,307.78	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.5	8,455.35	96,289	1,295,841	79.76	165.195
2011(H23) 7	313	102.2	99.7	92.7	4.6	9,833.03	10,537	1,150,877	79.47	177.515
8	273	102.1	99.9	92.9	4.4	8,955.20	4,363	1,218,501	77.22	174.503
9	392	101.9	99.9	92.5	4.2	8,700.29	16,107	1,200,593	76.84	168.897
10	321	101.1	100.0	93.4	4.4	8,988.39	5,339	1,209,882	76.77	169.095
11	324	101.0	99.4	92.5	4.5	8,434.61	1,261	1,304,763	77.54	166.651
12	290	101.0	99.4	94.7	4.5	8,455.35	2,657	1,295,840	77.85	165.195
2012(H24) 1	359	100.9	99.6	94.8	4.6	8,802.51	-4,556	1,306,668	76.97	169.100
2	449	101.1	99.8	95.8	4.5	9,723.24	12,026	1,302,877	78.45	171.372
3	641	101.6	100.3	97.4	4.5	10,083.56	13,074	1,288,703	82.43	173.106
4	306	101.7	100.4	97.3	4.6	9,520.89	3,735	1,289,542	81.49	172.526
5	338	101.2	100.1	96.3	4.4	8,542.73	3,421	1,277,716	79.70	166.968
6	433	100.5	99.6	94.9	4.3	9,006.78	4,221	1,270,547	79.32	164.232
7	445	100.0	99.3	93.8	4.3	8,695.06	P 6,254	1,272,777	79.02	163.420
8	316	100.2	99.4	93.5	4.2	8,839.91	P 4,574	1,273,242	78.66	164.424
9	378	P 100.5	99.6	P 91.2	P 4.2	8,870.16	P 5,036	1,277,000	78.17	166.262
前月比 %	19.6	0.3	0.1	-2.3% イト	0.0% イト	0.3	-	0.3	-0.6	1.1
前年同月比%	-3.7	-1.4	-0.3	-	0.0% イト	2.0	-68.7	6.4	1.7	-1.6
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2006(H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	768,362	1,499
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2011(H23) 8	1,363,895	146	-76	46,625	26,234	5	409	47,848	123
9	1,363,591	-110	-49	46,671	26,494	7	713	41,548	65
10	1,363,038	35	-130	46,551	26,318	6	536	41,005	16
11	1,362,455	-48	-101	46,701	26,246	4	393	39,264	9
12	1,361,835	-56	-536	47,209	26,593	9	11,591	36,838	2
2012(H24) 1	1,361,053	-236	341	46,601	26,355	3	114	47,397	40
2	1,360,012	-320	-125	46,614	26,517	5	2,741	40,687	43
3	1,358,799	-4,869	-110	47,408	26,781	8	1,124	34,744	15
4	1,353,174	202	-185	47,504	26,145	7	906	44,482	49
5	1,352,715	-34	111	47,023	26,218	5	843	50,572	119
6	1,352,007	34	-218	47,748	26,151	5	2,480	31,877	14
7	1,351,462	-46	-57	47,003	26,139	5	1,330	44,160	32
8	1,350,937	134	-122	47,199	26,190	6	37,514	40,194	18
9	1,350,523	-110	-43	P 47,615	P 26,322	3	2,828	32,511	14
10	1,349,968		-193			3	1,014		
前月比 %	-0.0	-	-	0.9	0.5	0.0	-64.1	-19.1	-25.1
前年同月比%	-1.0	-	-	2.0	-0.6	-50.0	89.2	-21.8	-79.4
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計
手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2006(H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.65	0.44
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.4	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	97.1	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2011(H23) 8	102.2	603	405	173	67	17,237	6,482	0.66	0.42
9	97.9	380	257	104	43	20,926	11,129	0.70	0.44
10	100.1	455	264	152	47	16,390	5,628	0.82	0.46
11	109.2	495	286	187	49	12,413	3,819	0.76	0.48
12	103.4	367	218	121	37	8,296	2,988	0.82	0.49
2012(H24) 1	98.1	269	104	146	23	5,887	2,211	0.80	0.52
2	108.0	261	95	82	25	6,416	1,094	0.94	0.55
3	107.9	281	157	99	29	21,196	4,647	0.80	0.56
4	109.0	470	293	144	50	43,499	6,392	0.95	0.58
5	106.6	485	303	154	51	9,908	1,598	0.93	0.63
6	103.3	612	372	213	66	14,104	4,564	0.83	0.61
7	97.2	541	355	115	60	21,531	6,653	0.89	0.59
8	P 106.3	474	336	120	53	25,262	7,651	0.93	0.59
9		630	439	164	71	26,697	11,988	0.91	0.60
前月比 %	9.4	32.9	30.7	36.7	33.5	5.7	56.7	-0.02 [※] イト	0.01 [※] イト
前年同月比%	3.9	65.8	70.8	57.7	65.3	27.6	7.7	0.21 [※] イト	0.16 [※] イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	あおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2006(H18)	175,587	30,755	46,385	100.3	299,079	-	21,959	-	-
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2011(H23) 8	16,064	2,343	3,005	100.3	271,407	11,379	1,285	-	-
9	13,526	3,013	4,051	99.9	257,983	9,235	1,060	-	-
10	13,981	2,674	3,697	99.8	286,807	8,401	865	49.0	-
11	14,384	2,367	3,222	99.3	275,235	8,001	901	-	-8.9
12	16,538	1,540	2,387	99.4	322,771	8,350	913	-	-
2012(H24) 1	16,733	2,545	3,797	99.7	283,991	14,796	2,297	49.5	-
2	13,882	2,797	4,263	99.9	249,716	9,778	1,250	-	6.4
3	14,954	4,650	7,206	100.7	296,413	8,332	1,016	-	-
4	14,352	2,667	4,036	100.4	302,171	8,293	948	47.8	-
5	14,455	2,231	3,717	99.9	272,272	10,179	1,288	-	10.1
6	14,261	2,991	4,616	99.1	240,529	9,234	1,020	-	-
7	15,071	3,562	4,999	98.6	264,972	9,334	1,003	50.3	-
8	16,224	2,544	3,474	98.5	280,611	9,292	1,114	-	-3.5
9	P 13,859	2,875	4,022	98.8	286,719	7,896	838	-	-
前月(期)比%	-	13.0	15.8	0.4	2.2	-15.0	-24.7	2.5ポイント	-13.6ポイント
前年同月(期)比%	0.8	-4.6	-0.7	-1.1	11.1	-14.5	-20.9	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	青森労働局	県統計分析課	青森銀行	

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2006(H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2011(H23) 8	5,560	314	-	16,341	3,190	946	1,613	8,173	8,795
9	20,807	240	146	19,716	2,920	508	1,664	7,053	15,092
10	21,286	305	219	20,160	3,260	572	2,566	16,085	10,943
11	20,215	327	214	25,544	3,407	593	2,118	11,879	9,221
12	23,092	360	220	11,237	2,080	260	2,048	6,742	11,143
2012(H24) 1	26,530	346	227	4,524	1,059	556	2,029	7,514	8,034
2	25,365	351	256	3,370	733	511	2,826	8,681	10,499
3	23,252	375	270	3,449	935	261	4,260	17,741	10,449
4	18,898	391	297	1,386	369	548	2,474	8,059	10,639
5	16,413	413	-	4,619	1,028	615	3,550	10,543	10,520
6	11,130	435	-	1,144	200	984	1,319	7,479	8,784
7	7,291	487	-	7,440	1,278	546	1,183	4,902	11,002
8	1,825	526	-	24,688	3,498	520	1,892	11,109	10,184
9	16,052	299	171	22,576	2,155	455	1,678	7,985	8,370
前月比 %	779.6	-43.2	-	-8.6	-38.4	-12.5	-11.3	-28.1	-17.8
前年同月比%	-22.9	24.6	17.1	14.5	-26.2	-10.4	0.8	13.2	-44.5
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2011(H23)	10.6	1,570.5	1,541.9	16,435
2011(H23) 8	24.2	112.0	197.5	1,736
9	20.4	345.0	131.2	1,493
10	13.3	96.5	150.9	1,798
11	8.1	148.5	91.2	1,554
12	0.0	211.0	31.5	1,398
2012(H24) 1	-2.6	143.0	47.2	1,847
2	-2.5	114.5	65.2	1,512
3	1.8	101.5	101.0	1,493
4	7.2	70.0	182.4	1,521
5	13.5	58.5	181.0	1,590
6	17.0	21.0	218.4	1,466
7	21.9	243.0	195.7	1,640
8	25.3	47.5	228.2	2,291
9	23.5	76.0	201.3	1,517
前月比 %	-1.8	28.5ml	-26.9h	-33.8
前年同月比 %	3.1	-269.0ml	70.1h	1.6
資料出所	気象庁			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2010 (H22)			
1~3月	-31.6	-12.8	-35.8
4~6月	-42.6	-23.8	-32.1
7~9月	-34.5	-17.4	-8.5
10~12月	-22.6	-34.1	-9.1
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	-23.4	-31.6	-5.3
資料出所	青森銀行BSI('12.10~12月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2011(H23) 8	298,271	182,555	236,613	567	246	513	146	59	147
9	298,140	182,619	236,588	789	336	629	70	44	71
10	298,033	182,532	236,535	681	300	596	117	69	101
11	297,929	182,524	236,483	546	239	572	88	73	104
12	297,762	182,503	236,494	400	174	338	72	49	128
2012(H24) 1	297,618	182,487	236,434	563	379	571	49	33	55
2	297,348	182,339	236,390	671	304	617	37	80	88
3	297,074	182,157	236,339	1,298	560	873	58	41	56
4	296,012	180,917	235,464	605	288	645	128	67	121
5	296,247	181,543	235,444	580	212	520	101	55	136
6	296,154	181,524	235,405	714	345	616	174	65	165
7	296,070	181,400	235,401	954	351	840	163	66	119
8	296,053	181,262	235,562	646	303	495	117	86	94
9	295,957	181,241	235,609	661	354	673	137	115	176
10	295,683	181,275	235,562						
前月比 %	-0.1	0.0	-0.0	2.3	16.8	36.0	17.1	33.7	87.2
前年同月比 %	-0.8	-0.7	-0.4	-16.2	5.4	7.0	95.7	161.4	147.9
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産						
	青森市	弘前市	八戸市	青森市		弘前市		八戸市		
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2011(H23) 8	0.36	0.32	0.49	1	56	2	230	1	53	
9	0.39	0.39	0.54	2	167	3	428	2	118	
10	0.43	0.48	0.55	2	242	3	194	0	0	
11	0.45	0.49	0.65	1	40	1	150	1	47	
12	0.42	0.41	0.67	2	1,400	1	18	0	0	
2012(H24) 1	0.32	0.31	0.56	1	46	0	0	1	48	
2	0.32	0.30	0.48	0	0	0	0	2	2,015	
3	0.47	0.36	0.57	2	98	2	350	1	170	
4	0.52	0.43	0.61	1	240	1	127	1	150	
5	0.44	0.45	0.59	4	693	0	0	0	0	
6	0.42	0.43	0.61	2	240	0	0	1	340	
7	0.44	0.39	0.69	1	100	0	0	2	560	
8	0.45	0.46	0.69	2	37,268	0	0	2	61	
9	0.48	0.61	0.71	0	0	1	28	2	2,800	
10	0.51	0.73	0.78	1	66	1	648	0	0	
前月比 %	ポイント	ポイント	ポイント	-	-	0.0	2,214.3	-100.0	-100.0	
前年同月比 %	ポイント	ポイント	ポイント	-50.0	-72.7	-66.7	234.0	-	-	
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

有効求人倍率は原数値による